

農業と環境

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
農業と環境（農文協）	3	1年(アグリビジネス科)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探究的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を身に付け、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得し、農業の各分野で活用する能力と態度を身に付ける。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				授業への取り組み姿勢	
		私たちの暮らしと農業 人間生活と地球規模の課題	2 2	・「農業」「環境」についての理解を深め、現在、わが国や世界が抱える課題について理解し、その問題解決について取り組む。	○	○		○	取り組み姿勢 姿勢 レポート提出	
	5	実習 ・カボチャの播種 ・カボチャの移植	2 2	・播種の基礎基本を理解し、実践出来るようになる。 ・移植の基礎基本を理解し、実践出来るようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿提出	
		農業と環境の学びの世界	2 2	・プロジェクト学習の方法について理解する。 ・学校農業クラブ活動について興味・関心をもつ。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出	
	6	実習 ・カボチャ苗の観察 ・カボチャ苗の順化	2 2	・苗の観察を通じて、植物の構造を理解する。 ・順化の意義を理解し、実践出来るようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿提出	
		地域環境の成り立ちと役割	4	・農業を取り巻く自然環境について学び、各種生態系について理解を深める。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出	
	7	実習 ・カボチャ定植 ・農地生態系調査	2 2	・定植の基礎基本を理解し、実践出来るようになる。 ・学校圃場周辺の自然環境調査を通じて農地生態系への理解を深める。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿提出	
		校内鑑定競技対策	4	・校内鑑定競技大会への学習を通じて、農業クラブへの興味・関心を高める。	○			○	取り組み姿勢 小テスト	
	8	地域環境の成り立ちと役割	2	・農業を取り巻く自然環境について学び、各種生態系について理解を深める。	○	○		○	取り組み姿勢 姿勢 レポート提出	
		動植物の営みと栽培・飼育	4	・植物の構造や一生について理解を深める。					レポート提出	
		実習 ・カボチャの花観察 ・カボチャ栽培管理 ・森林生態系調査	2 4 2	・花の構造について理解をし、生殖成長について知る。 ・栽培管理を実践できるようになる。 ・調査を通じて森林生態系への理解を深める。	○		○	○	取り組み姿勢 レポート提出 記録簿提出	
	9	栽培のおもな技術・作業のポイント	3	・作付け体系や農業における各種作業技術について理解を深める。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出	
		実習 ・カボチャの収穫	2	・収穫の基礎基本を知り、実践できるようになる。	○		○	○	取り組み・記録簿	
	後期	9	動物の性質・営みと飼育のポイント	3	・家畜について基礎基本を理解する。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出
			前期期末考査							○
10		実習 ・カボチャの収穫 ・カボチャの調整	3 4	・収穫の基礎基本を知り、実践できるようになる。 ・収穫後の流れを知り、実践出来るようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿提出	
	栽培環境とその管理	2 2 6	・作物を取り巻く様々な環境について理解する。 ・気象的環境について理解し、気象災害とその対策について考える。 ・土壌的環境について理解し、土壌について化学的な視点から考える。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出 発言内容		
		実習 ・カボチャの販売準備	4	・実習を通じ、生産物の流通を理解し、経営について興味をもつ。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿提出	

後 期	11	栽培環境とその管理	2	・生物的環境について理解し、環境に優しい防除法について考える。 2・農業における環境問題に関心をもち、環境保全型農業について考察する。	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出 発言内容	
		後期中間考査							○	定期考査
	12	校内実績発表大会準備	4	・1年間のプロジェクトについて考察し、プレゼンテーションソフトでまとめを行う。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 提出物
		栽培・飼育の基礎実験	2	・種子の発芽試験を行い、発芽について理解を深めるとともに、科学的な思考力を身につける。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出
		農業生産の実際(1)	2	・様々な作物についてレポートを作成する。	○	○	○	○	○	
		実習：カボチャの利用	2	・カボチャの調理実習を行い、生産物の利用と加工について学ぶ。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出
	1	農業生産の実際(2)	2	・様々な作物についてレポートを作成する。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢
		地域の農業・農村のすがたとあゆみ	2	・農村、里地里山とはなにか理解し、農村の果たす役割について関心を持つ。	○	○	○	○	○	レポート提出
		日本農業の現状と動向	2	・日本農業の現状について理解し、問題解決に取り組む姿勢を身につける。	○	○	○	○	○	
	2	後期期末考査							○	定期考査
		世界の食糧事情と食料の安定供給	2	・世界の食糧事情について正しい認識を持ち、問題解決に取り組む姿勢を身につける。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出
		農業農村の多面的機能と地域の活性化	2	・農業・農村の多面的機能を理解し、農業・農村の果たす役割を考察する。	○	○	○	○	○	発言内容
3	農業生産の実際(3)	2	・様々な家畜についてレポートを作成する。	○	○	○	○	○		
	地域環境の保全・創造の進め方	2	・実際例の紹介から、現在実践されている地域環境の保全・創造について学ぶ。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出	
		実習：栄養繁殖	2	・挿し芽を行い、栄養繁殖を理解するとともに実践出来るようになる。	○	○	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	農業と環境について興味・関心を持つ。 課題を科学的に捉えて合理的に解決しようと意欲的に取り組む。	農業と環境に関する諸問題の解決を目指して、基礎的な知識と技術を基に、課題を科学的・合理的に判断する。 またその結果を表現する創造的な能力を身につけている。	農業生物の育成と環境の保全に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け、農業生物の特性と栽培・飼育環境や環境保全・創造の重要性を理解している。
割 合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 4月～10月にかけて、座学と実習を平行して行います。
- (2) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (3) 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。
- (4) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。

以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0